

アレルギー疾患に関する3歳児全都調査（概要版）

■ 調査目的

- ・ 都内の3歳児におけるアレルギー疾患のり患状況等を把握し、平成11年度、平成16年度及び平成21年度に実施した同様の調査との比較を行い、15年前からのり患状況等の推移をみる
- ・ 3歳児の保護者のアレルギー疾患対策に対するニーズを把握し基礎資料とする

■ 調査対象

平成26年10月の都内3歳児健康診査受診者（以下「児」という。）及びその保護者（8,383人の保護者に調査票を配布）

■ 調査方法

区市町村の協力により、8,383人の保護者へ無記名による自記式調査票を配布し、郵送で回収

■ 回答数

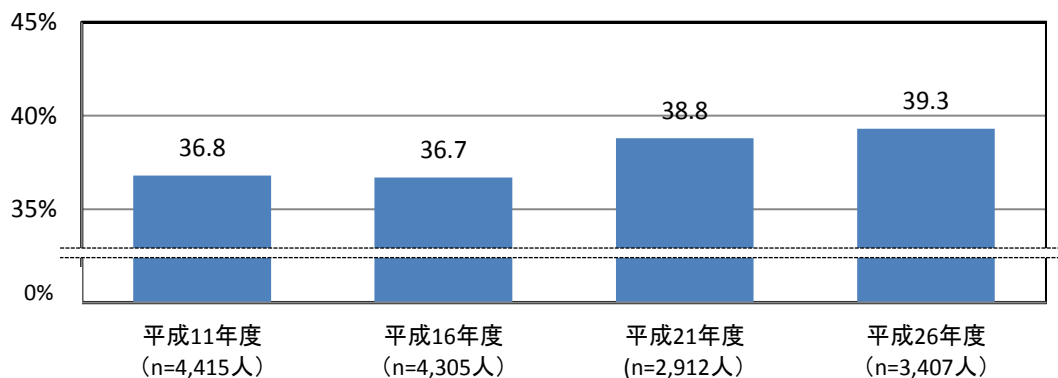
3,435人（回収率41.0%）

■ 主な調査内容

- ・ アレルギー疾患※のり患状況（症状の有無、医師の診断の有無）
※ぜん息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、じんましん
- ・ 保育所等への通所状況
- ・ アレルギー疾患に関する要望

1 3歳までに何らかのアレルギー疾患にり患している児は約4割で推移（報告書本文P12参照）

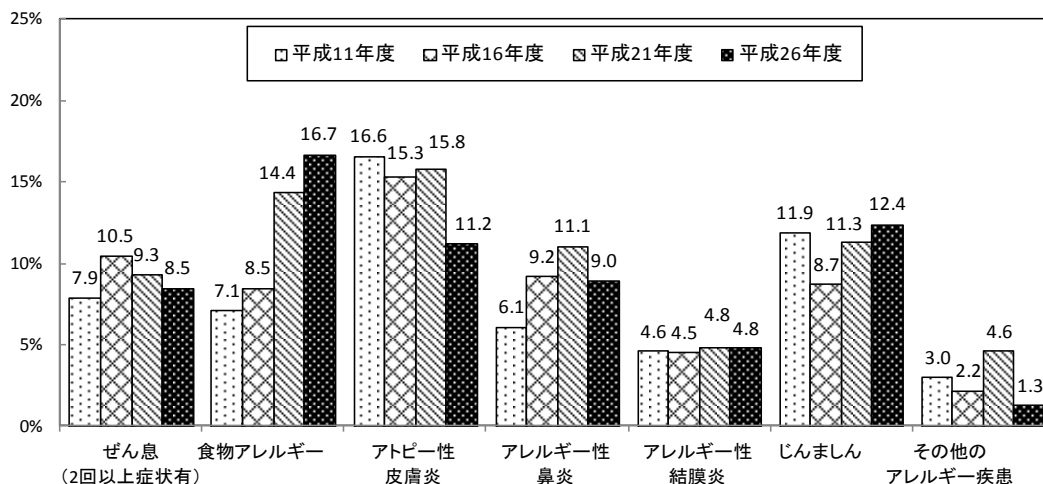
図1 3歳までに何らかのアレルギー症状有かつ診断された児の割合



2 「食物アレルギー」は一貫して増加傾向

（報告書本文P12参照）

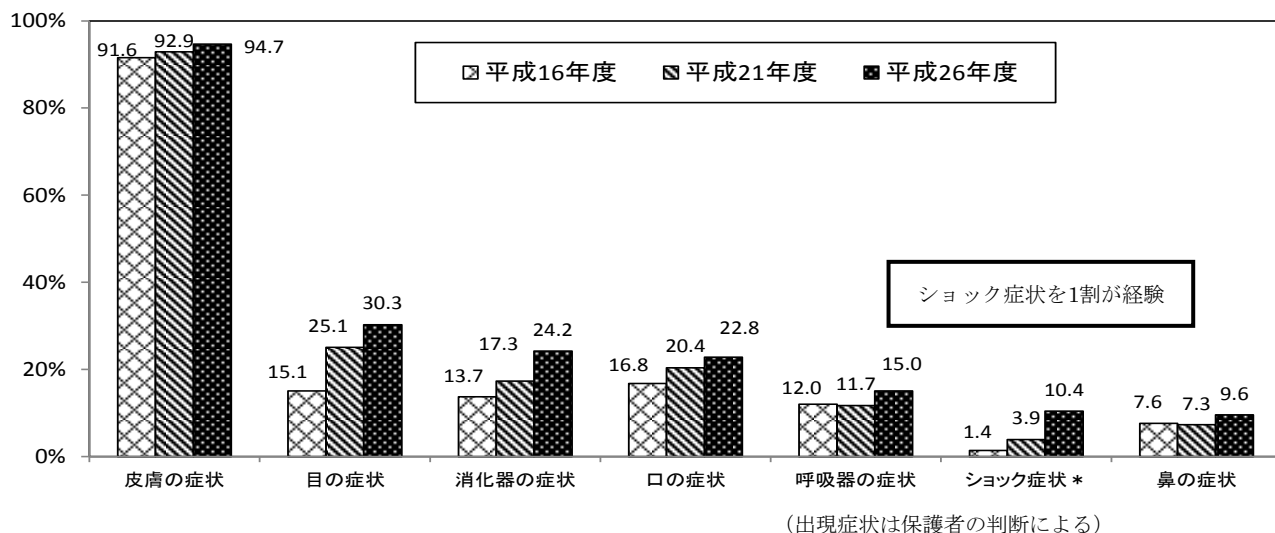
図2 各アレルギー疾患のり患状況の推移（3歳までにアレルギー症状有かつ診断された児の割合）



3 食物アレルギーで出現した症状

(報告書本文P22参照)

図3 3歳までに食物アレルギーと診断された児の食物アレルギーで出現した症状

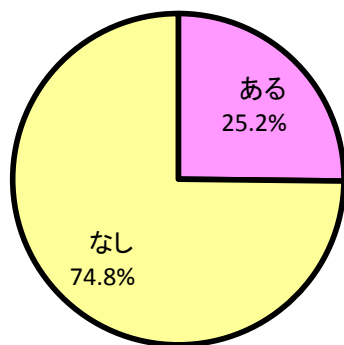


*ショック症状：本調査では、意識がない、意識もうろう、ぐったり、尿や便を漏らす、脈が触れにくい、唇やつめが青白い、のいずれかの症状を指す

4 食物アレルギーと診断された児のうち、4人に1人は誤食を経験

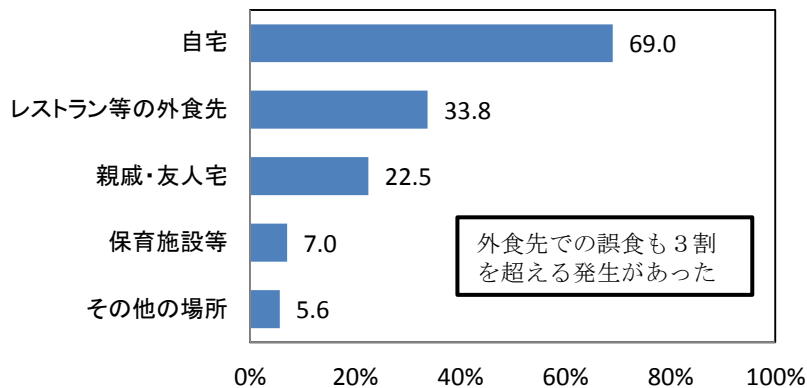
(報告書本文P29参照)

図4 誤食の経験



3歳までに食物アレルギーと診断された児
(無回答を除くn=564人)

図5 誤食の起こった場所



(3歳までに食物アレルギーと診断された児で
誤食の経験有n=142人)